



「加賀地区大会（県大会予選）」始まる!

いよいよ、県大会につながる加賀地区大会等が始まりました。6月4日(土)には小松市中学校陸上競技大会、6月11日(土)、12日(日)には卓球競技が行われました。

どの部活動でも、これまでの練習での取り組みを自信に変え、最高のパフォーマンスを発揮することができました。また、なかまの活躍を、自分事のように喜ぶ心も大きな力になっていると感じました。各校外競技についても、大会等が開催され、それぞれの活動の成果を発揮しています。

6月18日(土)からは、バレーボール競技、ハンドボール競技、野球競技、水泳競技、バスケットボール競技が行われます。何よりも試合を楽しむこと、そして、なかまを信じること。それが最高のパフォーマンスを生み出す原動力になることは間違いありません。

Next Stage (県大会・全国大会) への進出を具体的にイメージし、チャレンジしていけば、おのずと道は開きます。



- 陸上競技** 小松市中学校陸上競技大会
- 女子共通走り高跳び2位 (県大会出場)
 - 女子共通走り高跳び8位入賞
 - 女子共通100mH 7位入賞 800m 7位入賞
 - 低学年走り幅跳び8位入賞

卓球競技 加賀地区大会 団体ベスト8 (県大会出場)

空手競技 ●●●●
県空手選手権大会女子個人組み手2位 (全国大会出場)

少林寺拳法 ●●●●
県少林寺拳法大会 組演武 最優秀賞 (全国大会出場)

クラシックバレエ ●●●●
Japan Ballet Competition 中2・中3女性部門8位入賞、審査員特別賞



理科室水槽の住人「白メダカとミナミヌマエビ」

理科室の水槽には、白メダカ6匹とミナミヌマエビが数十匹います。ミナミヌマエビは昨年秋に水槽に入りました。最初は4匹(雌雄各2匹)からスタートしました。今春、2匹の雌エビが産卵しました。その数週間後、たくさんの稚エビが生まれました。

現在は大きな親エビ4匹と小さな子エビ数十匹が元気に暮らしています。ミナミヌマエビの寿命は約1年、脱皮を繰り返して成長していきます。水槽に生えるコケ、メダカのフン、メダカのエサの残り等を食べて暮らしています。ミナミヌマエビがエサをつまむ様子を観察していると、何となく癒されます。ストレスがたまったときなどは、ぜひ理科室のミナミヌマエビを見て心穏やかに過ごしてください。

また、ミナミヌマエビは一見すると雄雌が同じように見えます。しかし、よく観察すると雄と雌のちがいが分かります。ぜひ、雌雄の違いを見つけてみてください。ただし、水槽の住人達を驚かせないように静かに鑑賞してください。

